

# 積雪や凍結路面に係る救急事故に注意！

毎年12月から3月までの期間に、積雪や凍結路面により滑って転倒するなどの救急事故が多くなります。

平成28年12月から平成29年<sup>1)</sup>3月では、東京消防庁管内<sup>2)</sup>で14人が救急搬送されています。



- 1) 平成29年は暫定値
- 2) 東京都のうち稲城市、島しょ地区を除く地域

## 積雪や凍結路面での救急事故を防ぐために

- 靴は滑りにくいものを選びましょう。
- 足元に十分気を配りゆっくりと歩きましょう。
- 降雪後の数日間は、事故が多いことから、特に注意を払きましょう。
- 天候は事前に情報収集し残雪や凍結路面を避け、余裕を持って行動しましょう。

### 積雪や凍結路面に係る救急搬送人員

過去5年間で1,741人が救急搬送されています。積雪の多かった平成25年12月から平成26年3月が、過去5年間で、最も多く救急搬送され、降雪がなかった平成28年12月から平成29年3月は、過去5年間で最も救急搬送が少なくなっており、降雪の有無によって救急搬送人員が変化しています（図1）。

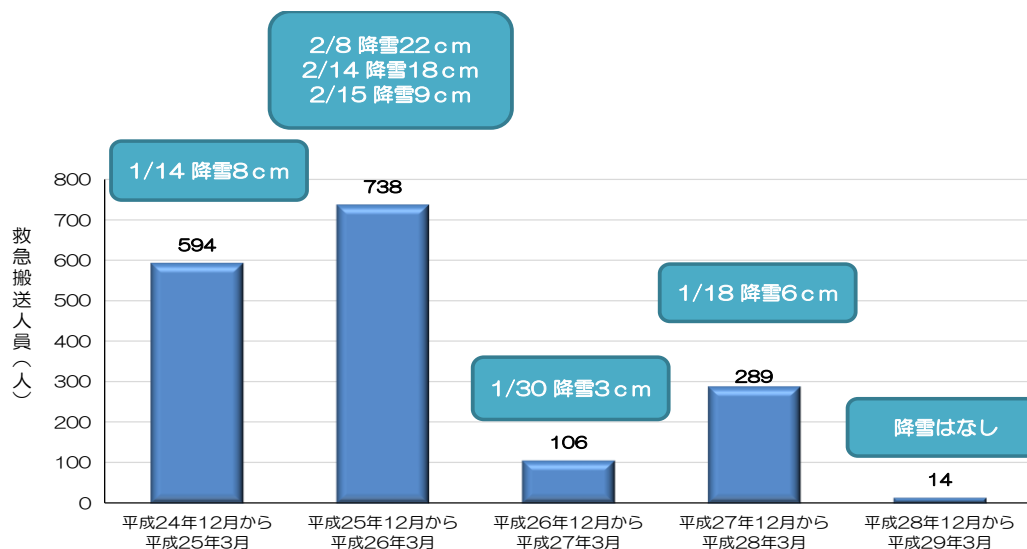


図1 積雪や凍結路面に係る救急搬送人員

## 月別の救急搬送人員

平成28年12月から平成29年3月の月別搬送人員は、12月が4人、1月が6人、2月が4人となっています。搬送人員が過去5年間で最も多かったのは、3日間降雪があった平成26年2月の713人です（表1）。

表1 月別の救急搬送人員（人）

	12月	1月	2月	3月	合計
平成24年12月から 平成25年3月	0	585	9	0	594
平成25年12月から 平成26年3月	9	9	713	7	738
平成26年12月から 平成27年3月	13	59	33	1	106
平成27年12月から 平成28年3月	0	283	6	0	289
平成28年12月から 平成29年3月	4	6	4	0	14

## 気象状況と救急搬送人員の関係

救急搬送人員の最も多かった平成26年2月について、気象状況<sup>3)</sup>と救急搬送人員の関係をみると、8日、14日、15日に降雪があり、2月だけで713人が搬送されています。例年、降雪のあった翌日に最も多く搬送されますが、平成26年2月は、降雪の翌日が土曜日や日曜日であり、平日に比べ通学・通勤者が少なかったためか、降雪日当日の救急搬送人員が多くなっています（図2）。

3) 気象庁の気象統計情報の東京で観測・測定した数値を使用

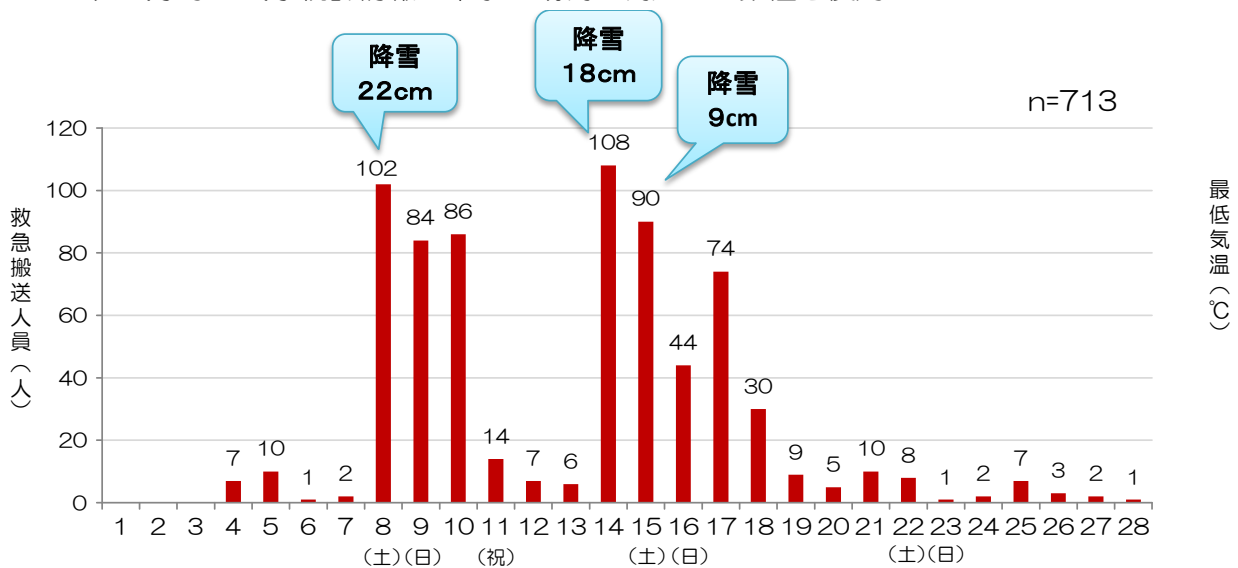


図2 気象状況と救急搬送人員（平成26年2月）

## 年齢層別救急搬送人員

年齢層（5歳単位）別にみると、60歳から64歳が最も多く救急搬送されています（図3）。

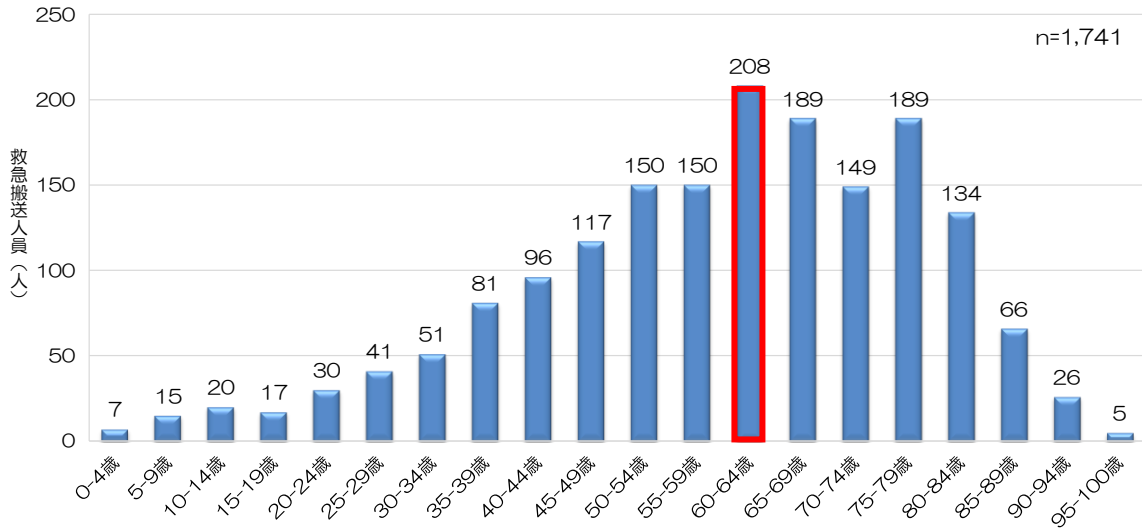


図3 年齢層別救急搬送人員（過去5年）

## 初診時程度別救急搬送人員

初診時程度別にみると、約4割が中等症以上と診断されています（図4）。

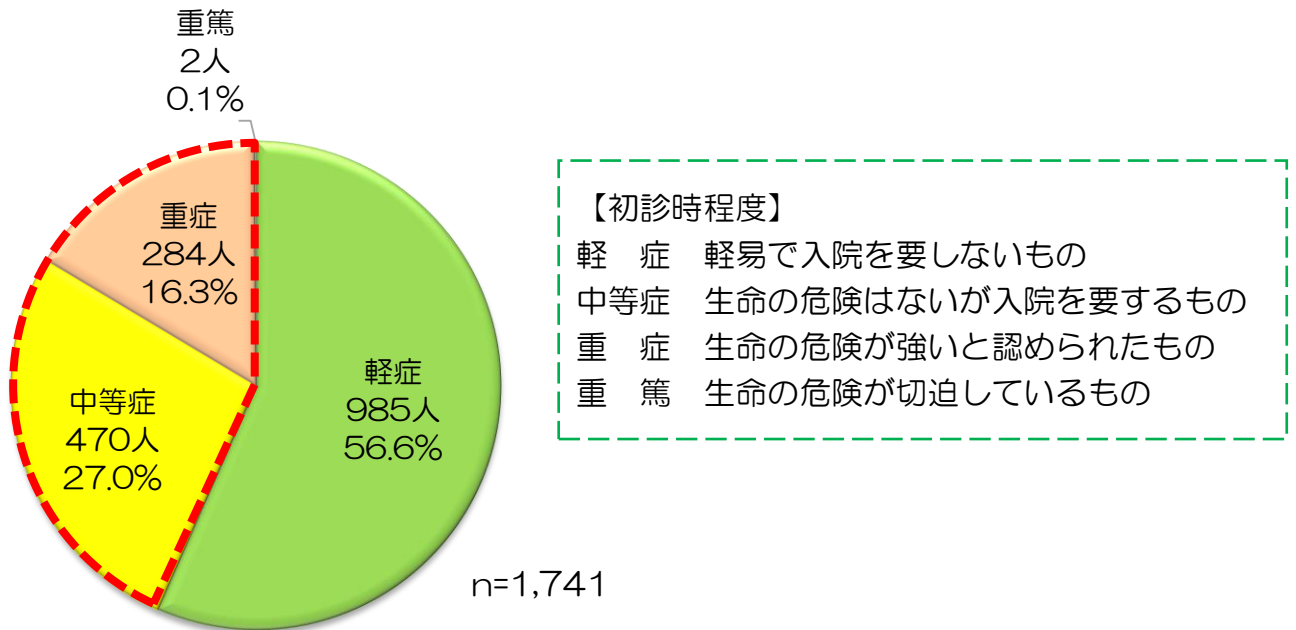


図4 初診時程度別救急搬送人員（過去5年）

## 事故事例

### 散歩中にバランスを崩して・・・

散歩中に凍結している路面でバランスを崩して後ろ向きに転倒し、後頭部を打撲した。(平成26年 81歳男性 重症)

### カーポートの雪おろし中に・・・

カーポートの屋根に積もっている雪を取ろうと、屋根に上って雪下ろしをしていたところ屋根が壊れ、約2m転落した。(平成26年 80歳男性 中等症)

### 階段で足を滑らせて・・・

階段を上っていたところ、雪で滑り6段下まで転がり落ちてしまい、左肩を骨折した。(平成28年 41歳女性 中等症)

### スロープで滑って・・・

スーパーから出る際、雪で濡れた鉄板製のスロープで滑って転倒し、右股関節を受傷した。(平成29年 68歳男性 中等症)